

平成28年9月30日
一般社団法人住教育推進機構
CROSSCOOP 青山9階 会議室
15:00～17:00

第2回運営会議議事録

1、発起人挨拶 設立代表発起人 井上幸一

明日から住生活月間である。また住生活基本法に基づいた各県での住生活基本計画が定められ3月を目処に都道府県単位にて住教育の推進について決められていく。この後議論する各地区長には名刺を支給するので各県の住教育の担当部署を回っていただき、各地域での住教育の推進を推し測っていきたい。

2、参加者

株式会社千金堂 理事長 内堀孝史
住宅保証機構株式会社 営業企画部 芝謙一
一般社団法人全国古民家再生協会 副理事長 三ツ井仁
日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合 南山和也
NPO 法人日本住宅健康協会 常務理事 和田伸之
一般社団法人住教育推進機構 専務理事 井上幸一
一般社団法人住まい教育推進協会 会長 川上幸生
(アドバイザー)
オフィスアイゼン 代表 高田美介
住育研究家住育のすすめ 著者 竹島靖
一般社団法人徳島県古民家再生協会 代表理事 金原建雄

3、検討課題

住教育設計士についての提案

住育検定をベースに年度替りに合わせて現インストラクターに取得してもらう。
活動において、都道府県単位にて住教育の推進について決められていくので各

地区長は各県の住教育の担当部署を回って欲しい。行政に回るためのパンフレットの作成と名刺を事務局で作成（無料）する。10月中に周り必要がある。

健康住宅アドバイザー資格について

和田氏より説明、高気密高断熱住宅においていかに健康に生活するかを提案する資格であり、年3回開催しており現在の資格者数は約1万2千名。非常に厳しい資格である（合格率ハウスメーカー2割、一般の工務店なら1割程度）住教育にとって必要なものなので当団体で推進していく。

支部長（地区長）決定について

	地区担当		支部長
北海道地区	江崎 幹夫	北海道	武部 拓道（ミサワホーム）
東北地区	藤木 武人	宮城県	西條けい子（千金堂）
関東地区	南山 和也	茨城県	香取 久雄（香取木材）
		栃木県	竹澤 稔（竹澤工務店）
		東京都	杉本 龍一（動的耐震機構）
		神奈川県	金子 和（金子工務店）
北信越地区	加藤 明博	富山県	笹川 征一（笹川工務店）
		石川県	細川 顕司（ほそ川建設）
		福井県	田中 諭美
東海中部地区	三ツ井仁	静岡県	山下 利之
近畿地区	奥田 拓司	滋賀県	大森 敏昭（大森大工）
		京都府	藤井 正枝（松栄住宅）
		大阪府	長井 正広（長井工務店）
		奈良県	柿本 愛子
中国地区	川上 幸生	岡山県	正田 順也（なんば建築工房）
四国地区		香川県	米澤 和久（千金堂）
		愛媛県	一宮 秀夫（千金堂）
		高知県	山口 恵仁（千金堂）
九州地区	淀川 洋子	福岡県	山城 京子（住育学校福岡）
		長崎県	福田 敏幸（福田工務店）

支部長並びに地区長について

各地域担当並びに都道府県の地区長を調整 地区長が行政をまわる

地区交流会について

来年2月から4月の間に全国各地域で開催する。それぞれの地域に関して運営委員会の皆さんで訪問いただく。

地区	担当者
北海道地区	富田氏
東北地区	内堀氏
関東地区	運営会議に合わせて皆さんで参加
北信越地区	川上
東海中部地区	芝氏
近畿地区	三ツ井氏
中国地区	井上
四国地区	南山氏
九州地区	辰巳氏
沖縄地区	和田氏

今後の運営

次年度からは一般社団法人の広域会計として運営を行いたい。議論が深まった段階で運営委員会から一名入っていただき4月から切り替えできるようにしたい。また各地域においても行政との連携を深め、助成金などの活用を進めていきたい。

次回の運営会議開催について

12月1日（木）15：00～17：00（その後懇談会開催）開催